

事業④	誰もが活躍できる環境整備により、まちの活力向上を図る産業振興事業	担当課 成長戦略部産業観光課
総合戦略における位置付け	基本目標2:新しいひとの流れをつくる 施策1:都市ブランドの推進 基本目標4:時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する 施策5:安全・安心な地域づくり	

【関連する数値目標(KPI)及び実績】

項目		事業開始前 (令和4年度)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
市に愛着と誇りを感じている市民の割合	目標	—	53	54	55
	実績	33.4	37.6	41.8	—
市に住み続けたいと感じている市民の割合	目標	—	58	59	60
	実績	40.1	45.1	45.3	—
社会動態の転入者／転出者の率	目標	—	94	96	98
	実績	76.5	88.5	91.9	—

	実施内容	参考指標	事業費(円)
令和6年度実施事業	(1) 令和6年度実施事項 ・派遣人材には、主に本市産業用地開発に係る業務を担っていただいている。 委託事業者や関係機関等との技術的な調整により、円滑な事業の実施に努めた。	○委託事業者との技術的調整 ○関係機関(警察や道路管理者等)との技術的調整	5,447,600
	(2) 背景 ・本市と包括連携協定を締結している南海電気鉄道(株)との連携の過程で、企業版ふるさと納税(人材派遣型)を受け入れることとなった。		
	(3) 企業版ふるさと納税受領額 5,447,600円(1社)		
		(合計)	5,447,600

担当者評価	【令和6年度評価】	【令和6年度の評価内容】
	①非常に効果的であった	人材の派遣に加えて、当該人材の人件費も寄附いただくことができ、市の負担なく事業の推進を強化することができた。

評価事業の目標・KPI達成に「①非常に効果的であった」、「②相当程度効果があった」、「③効果があった」、「④効果がなかった」

改善	【今後の課題・取組みなど】
	産業用地化事業は高度な技術的調整が必要である。そのような中、民間の鉄道会社で数々の難しい調整を担ってきた人材と連携して事業を進めることは、本市にとって大変有益である。今後も民間事業者の経験を活かした連携を継続していく必要がある。

委員会評価	【委員会評価】 下記から選択して下さい。	【評価等に対する意見】
	取組事業が総合戦略における位置付け・関連するKPI達成のために ①妥当である ②概ね妥当である ③検討を要する	